

ONE23

東京 23 区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」

2012
WINTER
Vol.7



東京23区の おすすめ図書館をご紹介します!

- 「歩く」千代田区 皇居周辺のパワースポットめぐり
- 「知る」『所蔵資料』蔵出し
- 「学ぶ」OU講座紹介、文京区の魅力紹介展示
- 「食べる」冬の定番“おでん”の歴史と栄養素

東京23区のおすすめ図書館をご紹介します!



足立区：足立区立中央図書館
 中高生を対象としたヤングコーナーを設置。明るく居やすいコーナーと好評です。



荒川区：荒川区立南千住図書館
 ふるさと文化館併設。区出身の作家「吉村昭の部屋」があり、3月にはイベントも予定しています。



葛飾区：葛飾区立中央図書館
 JR金町駅徒歩2分にあり、都内ではワンフロア面積が最大級で自動貸出・返却機があります。



北区：北区立中央図書館
 大正時代建造の赤レンガ倉庫を活用した図書館。ロケ地としてもよく利用されています。



江東区：江東区立深川図書館
(平成5年改築)
 清澄庭園に隣接する大正・昭和のクラシカルな外観。東京市立図書館として設立し、平成21年に100周年。



杉並区：杉並区立阿佐谷図書館
 井伏鱒二を中心とした「阿佐ヶ谷会」の文士達の著作を集めた「阿佐ヶ谷文士村コーナー」を常設しています。



墨田区：墨田区立緑図書館
 墨田区の歴史、産業、文学、地図、写真などを収集し、提供・発信・継承する図書館。



世田谷区：世田谷区立中央図書館
 区立随一の蔵書数を誇り絵本によるおはなし会や公衆無線LANサービスを楽しめます。



豊島区：豊島区立千早図書館
 横山光輝氏が生前近隣に居住していたことから、鉄人28号の大きな模型を展示しています。
©光プロダクション



中野区：公益財団法人 東京子ども図書館
 子どもと本の幸せな出会いを願って活動する私立図書館。おとなの為の資料室もあります。



練馬区：練馬区立光が丘図書館
 緑豊かな公園内にあり、開放的な明るい雰囲気の中で、読書をお楽しみいただけます。



板橋区：板橋区立いたばしローニャ子ども絵本館
 世界約80か国2万3千冊の絵本が楽しめる。全国でも珍しい外国絵本の専門図書館です。



江戸川区：江戸川区立東部図書館
 白い外壁に全面ガラスで明るく開放的な空間を演出。22年12月にオープンした新しい図書館です。



大田区：大田区立入新井図書館
 開館時間を延長、授乳室を設けるなど、利用しやすい区初の民間施設入居型図書館です。



品川区：品川区立品川図書館
 京急新馬場駅から徒歩3分。蔵書約37万冊。旧東海道の散策がてらお立ち寄りください。



渋谷区：渋谷区立笹塚こども図書館
(平成22年6月オープン)
 森・恐竜・星空をイメージした3つの部屋で、子どもたちが読書やおはなし会などを楽しむことができます。



新宿区：新宿区立角筈図書館
 ビジネス情報支援に力点を置く地域館としてビジネス関連図書・業界紙等を豊富に所蔵しています。



台東区：台東区立中央図書館
 中央図書館に併設された池波正太郎記念文庫。鬼平、剣客、梅安…池波作品の世界を堪能できます。



中央区：中央区立京橋図書館
 開設100周年を迎えた図書館で、戦前に発行された図書など貴重な資料を所蔵しています。



千代田区：千代田区立日比谷図書文化館
 旧都立日比谷図書館が区に移管され、博物館機能と融合した施設に生まれ変わりました。



文京区：文京区立本郷図書館
 明治43年開設の歴史ある図書館。近くに森鷗外旧居跡(観潮楼)があり関連図書も充実しています。



港区：港区立みなと図書館
 緑豊かな芝公園の中にある図書館です。時季にあわせた特設コーナーなども設けています。



目黒区：目黒区立八雲中央図書館
 蔵書は約40万冊。図書館の中央にある資料相談カウンターをお気軽にご利用ください。

歩く

パワースポットに興味があっても

実際に自分で体験してみないと良くわかりません。

そこで、今回は気軽に行けるパワースポットをご紹介します。

千代田区 皇居周辺



1 東京大神宮

伊勢神宮の遥拝殿であることから「東京のお伊勢さま」と親しまれています。また、結びの働きを司る造化の三神が併せまつられているので、近年縁結びに御利益のある神社として、良縁を願う若い人たちの参拝も年々多くなっているそうです。

所在地：千代田区富士見 2-4-1



2 和田倉噴水公園

皇居外苑にある噴水公園。今上天皇のご成婚記念に作られた後、皇太子殿下のご成婚を機に再整備されました。噴水や人工的な滝からマイナスイオンが出ていてリラックスできるのだとか…。風水的にも噴水や滝はパワーがあるそうです。

所在地：東京都千代田区皇居外苑 3-1



3 首かけイチョウ

日比谷公園の大イチョウ。この呼び名は、明治32年に伐採されようとしていたところを、本多静六博士が「首にかけても移植させる」と言って、難しい移植を成功させたことによります。近頃は、都心のパワースポットとして人気があるそうです。

所在地：東京都千代田区日比谷公園 1-6



4 千鳥ヶ淵

皇居の北西側にあるお堀。桜の名所としても有名で、開花期間中は大変賑わいます。皇居（江戸城）は風水的に考えられた場所に造られ、千鳥ヶ淵は現在もパワースポットとして知られています。

所在地：東京都千代田区北の丸公園 1

ちょっと寄り道しませんか

東京国立近代美術館工芸館

建物は、明治43年（1910）建設の国指定重要文化財。赤レンガの建物は震災や戦災を逃れほぼ完全に明治の趣を伝えています。スケッチの対象や写真の被写体として人気のスポットとなっています。

所在地：千代田区北の丸公園 1-1

料金：一般200円 大学生70円 高校生以下、65歳以上無料

開館時間：10:00～17:00（入館16:30まで）

定休日：毎週月曜日（祝日・振替休日は開館し、翌日閉館）

展示替期間 年末年始（12月29日～1月1日）



UP↑↑ 身近で出来る運氣UP!?

風水でお部屋のインテリアやその配置を工夫すると運氣が上がると言われています。また、部屋の隅は悪い気がたまりやすいので念入りに掃除をしたり、観葉植物を飾ったりすると良いとも言われています。

確かに、部屋がきれいだとスッキリして晴れやかな気分になりますが、これって風水が関係してるのかな!?

知る

23区をもっと知ってもらいたい。

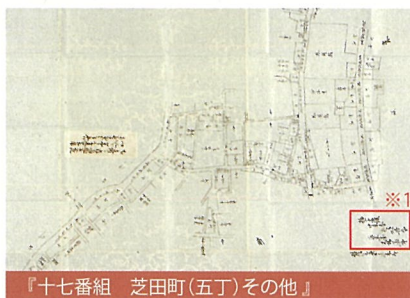
特別区自治情報・交流センターでは、統計データ、書籍をそろえて、皆さんのお越しをお待ちしています。

『所蔵資料』蔵出し - 『東京五拾区縮図』その2-

東京の行政区画の第一歩である五十区は、明治2(1869)年3月10日「名主ヲ廃シ」、翌11日「中年寄添年寄任命ス」、同月16日「市内ヲ五十区二分チ、区毎二町用取扱所ヲ設ケ、中年寄添年寄ヲ置キ、五区毎二世話掛中年寄ヲ置ク」と始まりました。その後、明治4(1871)年6月13日「朱引内区法ヲ改メ、分チテ四十四区トス」され、五十区は終わりました。

『東京五拾区縮図』の袋紙には「庚午〔かのえうま〕9月改」と書かれており、五十区の短い実施期間の明治3(1870)年9月頃に作られたと考えられます。

今回は『東京五拾区縮図』の『十七番組』『十八番組』を紹介すると共に、この2枚の地図だけに書き込まれている中添年寄について触れます。



『十七番組 芝田町(五丁)その他』

■『十七番組 芝田町(五丁)その他』

『十七番組』に描かれた地域は、東は東海道の江戸前の海、南に芝大木戸・伊皿子坂・魚籃坂、西が古川四之橋付近、北は札ノ辻付近の一带です(左図では上部が北方面)。当時14町に960戸、3702人の町民が暮らしていました。

五十区は人口約1万人を目安に区分したのですが、『十七番組』の人口は目安の半分以下。東海道から古川四之橋周辺まで広範囲の割には少ない人口で、五十区中2番目の少なさでした。

■『十八番組 芝車町その他』

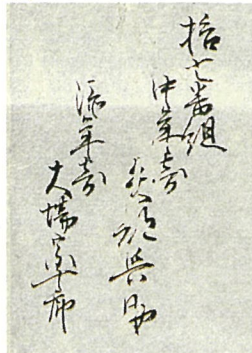
『十八番組』に描かれた地域は、『十七番組』から南に続く東海道一帯で、江戸前の海に面した地域です(右図では上部が東方面)。南は品川宿に続き、北に芝大木戸、当時8町に1283戸、5044人の町民が暮らしていました。

この地域は、東海道の江戸の入口にあたり、江戸出入の人々の往来で賑わっていました。地図中央辺りに「泉岳寺」、その西側に大石良雄(内蔵助)が切腹したとされる「熊本藩中邸」が確認できます。

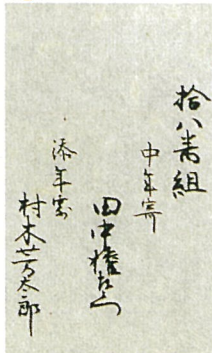


『十八番組 芝車町その他』

※1



※2



■「名主」に代わる「中年寄」「添年寄」とは

『十七番組』と『十八番組』に書かてている中添年寄の氏名は、それぞれ「中年寄矢部与助 添年寄大場惣十郎」(左図左側)、「中年寄田中権左衛門 添年寄村木芳太郎」(左図右側)とあります。どのような人が中添年寄に任命されたか調べていませんが、その地域に関係している人が任命されたのではないのでしょうか。それでは中添年寄は、どのような仕事をやっていたのでしょうか。

『都史紀要五 区制沿革(昭和33年3月発行)』によると「中添年寄の任務は、旧名主のそれを継承したものであった。名主時代も人別改めは重要な任務であったが、中添年寄任命の由来から見ても、戸籍事務は重要な任務の一つであった。」とあり、また「その他、町入用の改め、公事出入の調停や世話、検使行倒れや窮民救済の世話、地面売買の加印、久離義絶の糺し、火事場に於ける人足の監督、川船新製譲渡の奥印等である。」とあります。

今で言えば、区の戸籍や福祉の仕事から、裁判・登記や消防の仕事まで、掌っていたことがわかります。驚きですね。

本執筆に当たり、『芝区誌(昭和13年3月発行)』、『港区史(昭和35年3月発行)』、『新修港区史(昭和54年5月発行)』、『都史紀要五 区制沿革(昭和33年3月発行)』、『東京市史稿市街篇第50~52(平成13年復刻版発行)』を参考にしました。なお上記資料は、特別区自治情報・交流センターで閲覧できます。

学ぶ

あなたの「学びたい」気持ちにお応えする
東京区政会館の学べるスポットをご紹介します。

首都大学東京講座

東京区政会館3階では、どなたでも学べる「首都大学東京オープンユニバーシティ（OU）」を開講しています。様々な講座から、特別区協議会との共同講座を紹介します。

特別区協議会との共同講座 申し込み方法をご覧ください。

世田谷にみる多摩川の治水と生活

日時	2月8日(水)13:00~14:30 2月15日(水)10:30~14:30
講師	世田谷区教育委員会 文化財資料調査員 今田 洋行
受講料	7,300円(全2回)

開削後 400年を迎えた次大夫堀の歴史を振り返り、多摩川と世田谷における生活との関わりを考えます。

※2月15日の集合は、次大夫堀公園民家園です。昼食持参でお越しください。

●申し込み方法

原則、各講座開講の2週間前までにお申し込みください。定員に達し次第、締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒に支払ってください。申し込み後、銀行振込・払込票・クレジット（WEB申し込みの場合のみ可）のいずれかで受講料をお支払いいただいた後、「受講のご案内」をお送りします。

特別区協議会との共同講座 申し込み方法をご覧ください。

大田区ゆかりの文学者・画家たち ～山王・馬込を中心に～

日時	2月28日(火)13:30~15:00 3月6日(火)10:30~14:30
講師	大田区立郷土博物館学芸員 岩崎 みどり
受講料	7,300円(全2回)

馬込や山王地区に住んだ文学者・画家の特色や作品、交流の様子を紹介します。

※都営地下鉄浅草線「西馬込」下車西口より徒歩7分

申し込み先

首都大学東京オープンユニバーシティ窓口
TEL: 042-677-2362 (平日9時~19時)
WEB: <http://www.ou.tmu.ac.jp/>

民家園・郷土博物館へ行ってみよう!

世田谷区立次大夫堀公園民家園

「生きている古民家」をテーマに、囲炉裏には毎日火がたかれています。また、農村に伝わる行事等も行っており、昔ながらの生活や風習を体験することができます。



- 時間：9:30~16:30 ●所在地：世田谷区喜多見5-27-14 ●料金：無料
- 休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（但し、元旦は特別開園）
- 最寄駅：小田急バス・東急バス「次大夫堀公園前」下車徒歩2分

大田区立郷土博物館

大田区を中心とした人文科学系の博物館で、考古、歴史、民俗、文学などの資料を保存・展示し、教育普及事業を行っています。



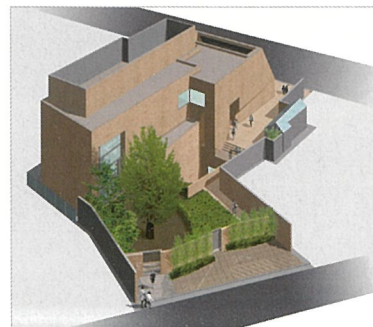
- 時間：9:00~17:00 ●所在地：大田区南馬込5-11-13 ●料金：無料
- 休館日：毎週月曜日（祝日は開館）、年末年始ほか
- 最寄駅：都営地下鉄浅草線「西馬込」下車西口より徒歩7分

文京区の魅力紹介展示

150年目の出会い・森鷗外記念館 11月開館

本年1月19日は文豪森鷗外の150回目の誕生日です。その鷗外が半生を過ごした観潮楼跡地に、新たに森鷗外記念館が開館します。近くにある漱石旧居跡（猫の家）を始め、区内には一葉、啄木ら文人たちの足跡が目白押し。文学のまち「文の京（ふみのみやこ）」の魅力を中心にご紹介します。

- 《開催日》2月1日(水)~2月28日(火)
- 《展示時間》平日9:00~20:30 土曜日9:00~17:00 (日・祝を除く)
- 《会場》東京区政会館 1階エントランスホール



外観イメージ図

(写真提供・文京区)

今回の展示は、中央区の魅力紹介展示。3月12日(月)~3月29日(木)の実施を予定しています。

食べる

冬の定番料理と言えば、アツアツの“おでん”

実は体にやさしい健康食なんです。

今回は、知れば知るほど面白い“おでん”をご紹介します。

おでんの歴史



“おでん”のルーツは田楽!?

私たちが食べている、煮汁の中で具を煮ながら売る“おでん”が生まれたのは幕末に近い頃だそうです。

それ以前の江戸では、おでんといえば「田楽」のことで、宮中の女性たちが隠語として「おでん」と呼んでいたのが、庶民の間に広まったといわれています。室町時代の文献に登場する田楽は、焼いた豆腐に味噌を塗った料理でした。

幕末になるとコンニャクや里芋を煮込んだ“煮込みおでん”が江戸から上方に伝わって、従来のおでん（田楽）と区別するために「関東煮」と呼ばれました。

バランスの良い食事“おでん”

体が温まって、栄養バランスも Good!

野菜、海藻、がんもどき（大豆加工食品）、魚介類、練り物（魚のすり身）でバラエティー豊かな具材で作られるおでんは、自然に様々な食材を食べることができる健康的な料理です。ちなみに、揚げかまぼこ（さつま揚げ）は良質なタンパク質やカルシウムを含む低カロリーな食品です。

いつも家で作るおでんに青菜類を加えれば、栄養のバランスもさらに Good! です。



和食の基本?

おでん作りが上手になると、和食料理、特に煮物や汁物が上手になるそうです。和食料理のポイントには、調理器具の正しい使用法、だしと調味料の比率、食材の切り方、乾物の戻し方、火加減、塩加減などがあります。おでん作りには、これらのポイントが全て入っているので自然に和食料理の基本が学べるのです。

楽しくおでんを作って和食料理の腕が上がるなんて、まさに一石二鳥ですよ。



23区イベントピックアップ(1月~3月)

港区、墨田区、板橋区
江川区、大田区、杉並区

※イベント内容は各区のホームページから抜粋しています。お出かけの際は、主催者にご確認ください。

港区

虎ノ門金刀比羅宮 初こんぴら祭
1月10日(火)



境内の神楽殿で里神楽の奉納が行われるほか、参道では他ではあまり見られない「七福神の行列」が練り歩き、露店も数多く毎年賑わいます。

場所：虎ノ門金刀比羅宮
東京都港区虎ノ門 1-2-7
問合せ：虎ノ門金刀比羅宮 電話 03-3501-9355

墨田区

能勢妙見山別院 水行国持会
2月15日(水)



2月の寒い時期に、荒行を終えた修行僧が、冷水を頭からかぶり心身を鍛えると共に、国の安泰を祈る行事。能勢妙見山別院は勝海舟ゆかりの寺院としても有名です。

場所：能勢妙見山別院
東京都墨田区本所 4-6-14
問合せ：能勢妙見山別院 電話 03-3623-2485

板橋区

板橋区吹奏楽団 第25回ポピュラーコンサート
2月18日(土)・19日(日) 開場 14:30
開演 15:00



25周年を記念して2日間公演です。壮大な音の演技をお楽しみください。

場所：区立文化会館大ホール
問合せ：チケット販売窓口 電話 03-3579-5666
料金：1日目(一般)1,000円(小学生以下)500円(全席自由)
2日目(1階席一般)1,000円(2階席一般)2,000円(全席自由)
※2歳以下で保護者のひざの上観覧は無料。3歳からお席が必要です。

江川区

真蔵院 雷の大般若
2月26日(日)



江戸時代末期にコレラが蔓延し、当時の和尚が大般若経を背負って家々を回ったところ、被害がなかったことがきっかけで始まったと言われています。女装の由来は、結核にかかった妹のために、兄が妹の長襦袢を着て厄払いをした説が有力とされています。

場所：雷不動(真蔵院) 江川区東葛西 4-38-9
問合せ：大般若保存会 彦田 電話 080-5514-8794

大田区

フェルメール~全作品と生涯
3月10日(土) 開演:14:30



ヨハネス・フェルメール
「真珠の耳飾りの少女」
1665-66年/マウリッツハイス美術館蔵

本講演では、フェルメールの全作品を紹介するとともに、フェルメールが他の画家から受けた影響と、彼の獨創性についてわかりやすく解説します。

場所：大田区民プラザ大ホール
問合せ：(公財)大田区文化振興協会 電話 03-5744-1600(7アフロ)
料金：¥500円【全席自由】
講師：多摩美術大学教授 中村 隆夫氏
※チケット好評発売中

杉並区

第9回「杉並演劇祭」
3月1日(木)~31日(土)



撮影：塩谷安弘

杉並演劇祭は、杉並区内の演劇人関係者で組織した杉並演劇祭実行委員会が主催となり、身近な場所で演劇に親しんでいただくために杉並区内の区立施設・民間劇場等を使用して開催する「演劇の祭典」です。

場所：座・高円寺、明石スタジオ、遊空間がびい、一般会場(区立施設及び区内民間劇場)
問合せ：杉並演劇祭実行委員会事務局
電話 03-5374-8898(シノザキスタジオ)

特別区協議会

自治情報・交流センターからのお知らせ

特別区自治情報・交流センターは、特別区を中心とする自治に関する資料を収集しており、どなたでもご利用いただけます。特別区について知りたい、調べたい、そんなときは、お気軽にご利用ください。



<http://www.research.tokyo-23city.or.jp>

〒102-0072
千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
電話/03-5210-9051
交通/東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
JR中央・総武線 飯田橋駅 出口徒歩5分